

みんなのひろば・みんなのひろば・みんなのひろば・みんなのひろば・みんなのひろば



架橋にはげむ会員

架橋奉仕

五月十一日の日曜日、久次良町老人クラブ「寿久会」の会員の奉仕で、日光中学校裏の田母沢川にかかる木橋の架け替えが行われました。

年間約千五百人が利用するこの橋は、昨年十月の豪雨で流され、ハイカーや地元の人たちに不便をかけていたため、寿久会の人たちによって架け替えが行われたものです。

別倉製作所から提供された機材を使って完成させた橋を前にして、

「これで利用者に不便をかけなくてすむ」と喜んでいました。

菊づくり

日光菊寿会（宮田庄吾会長）では、五月二十一日、国体用の菊づくりに汗を流しました。

この日鉢植にされた菊の苗はおよそ二百本。これから菊寿会の手によって育てられるこの菊は、今秋開かれる栃の葉国体の剣道会場を美しい花で包むことになり、遠来の選手たちの英気を養い、心をなごませることになるでしょう。

菊苗の植付け



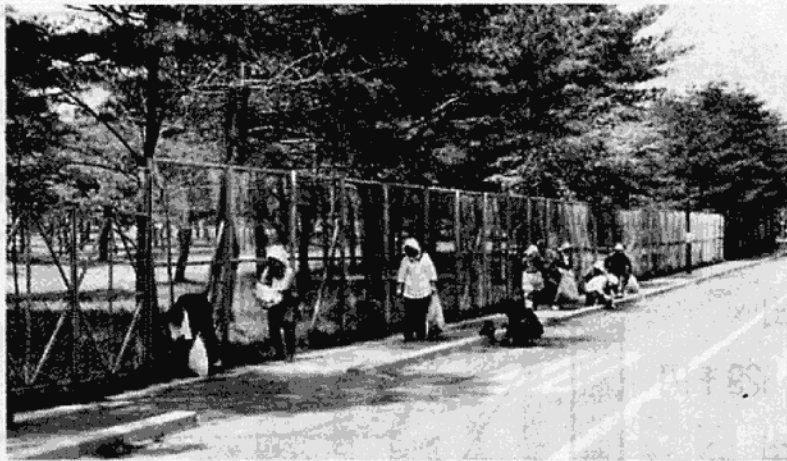
清掃奉仕

五月十三日、所野老人クラブ（谷

田貝憲介会長）の人たち約五十人が参加して、所野憩の家からスケートセンターまでの道路沿いを清掃しました。

集められたゴミはほとんどが、空カンや空ビン、タバコの吸い殻などで、車から投げたり、歩きながら捨てたものばかりでした。この奉仕活動は、毎年春と秋の二回行っているものです。

清掃奉仕の会員



日光キスゲ

中禅寺温泉観光協議会（小平常夫会長）は五月二十二日、会員七十人が参加して、日光キスゲ千本を植えました。



植付け作業

初夏に奥日光を訪れる観光客に美しい日光キスゲの花を楽しんでもらおうと、農業マイクログラウンドで育てた三〜四年生の苗千本を分けてもらって、第二イロハ坂の第四カーブから第二十カーブまでの十六カ所に二十株から五十株ずつ植えました。

この苗は、つぼみをもっているものもあり、六月下旬には黄色い花を咲かせます。

これからも毎年植付をして、イロハ坂も霧降高原のように日光キスゲの名所にしようと張り切っていました。

観梅会

「安良沢老人クラブ寿会」では、四月二十二日に観梅会を開きました。同会では、安良沢集会所周辺などに、これまでに梅約百二十本を植えつけ、これの管理や手入れを続けてきましたが、梅も大きくなり、実の採取もできるようになって、昨年は、五百ポもの収穫があり、これを会員に分けて、八万円もの収益がありました。

観梅会は、この益金で開いたもので、日ごろ丹精こめた梅の林での慰労会。自治会の応援もあってお年寄りには、楽しいひと時を過ごしました。梅の手入れは、今後も老人クラブで続けて行く計画です。

観梅会の記念写真

